

木製ブラインド フォレティア デザインブラインド アフタービート

ポール操作

取扱説明書 兼 無償修理規定

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用になる前に、この説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に大切に保管してください。

販売店様へ

製品を販売店様でお取付けになった場合は、
この取扱説明書 兼 無償修理規定をご使用になるお客様へお渡しください。

INDEX 目次

ご使用の前に

安全上のご注意	1
製品を使用する上でのご注意	3
天然木のスラット・木部材について	3
各部の名称	4
付属品	5
寸法図	5

取付けかた

製品の取付けかた	6
製品の取外しかた	10

使いかた

操作のしかた	12
高さ調整のしかた	14

お手入れ

お手入れのしかた	16
----------------	----

こんなときは

トラブルシューティング	16
メンテナンスシールのみかた	17
保証とアフターサービス	

安全上のご注意 (必ずお守りください)

人への危害や財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 表示内容が無視し誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性がある内容を示しています。



注意

誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつく内容を示しています。

- お守りいただく内容の種類を次の図記号で区分し、説明しています。



してはいけない「禁止」の内容です。



必ず実行していただく「強制」の内容です。

ご使用になる前にお読みください



警告



お子様やペットを製品に近づけないでください。スラット(羽根)やコード類に引っかかる、コード類が首や体に巻き付くなどして思わぬ事故をまねく恐れがあります。



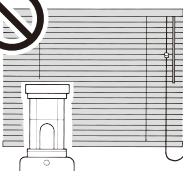
小さなお子様がいるご家庭では、製品のコード類の近くにソファやベッドを置かないでください。ソファやベッドに上がれば手が届き、思わぬ事故をまねく恐れがあります。



製品にぶら下がったり無理に引っ張ったり、急激な操作をしないでください。また、製品にものを吊り下げたりして、無理な力をかけないでください。製品が破損したり、落下して思わぬ事故をまねく恐れがあります。



火のそばで使用しないでください。製品が溶けたり、燃えたりして危険です。



ご使用になる前にお読みください

⚠ 注意



操作は必ず、タッセルで行ってください。
直接スラット(羽根)やボトムレールを手で引っ張ると故障の原因となる恐れがあります。



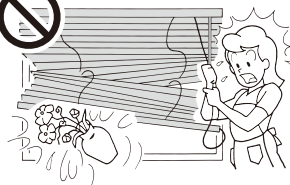
製品の動く範囲内に人や、動きを妨げるものがないようにしてください。けがをしたり、ものが破損する恐れがあります。



風の強い時には製品を降ろしたまま窓を開けないでください。製品の破損や、思わぬ事故をまねく恐れがあります。



製品の分解や改造をしないでください。
製品の破損や故障の原因となります。



お取付けになる前にお読みください

⚠ 警告



付属の取付けねじは木部用です。木部以外には使用しないでください。



木部以外へ取付ける場合は、下地の種類や構造・強度に応じて適正な専用のねじ・アンカー等をご使用ください。



製品重量に耐えられる下地に取付けてください。
製品が落下し、思わぬ事故をまねく恐れがあります。



本体取付け時には、取付けブラケットに本体が確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないと製品が落下することがあります。



電動工具を使用する場合、下地やねじ、アンカーにあった適正なトルクで取付けてください。過度なねじの締め付けによって下地やねじが破損し、製品が落下し、思わぬ事故をまねく恐れがあります。

⚠ 注意



この製品は屋内用です。屋外では使用できません。
屋内であっても、特殊環境(極度の湿気、薬品のガス、公害、粉塵等)では使用できません。



浴室や結露がひどい場所等の湿度の高い場所ではご使用にならないでください。反りやねじれ、塗装が剥がれる等製品不良の原因となります。

製品を使用する上でのご注意

- 本製品には、経時変化等の変形・色変化が生じることがあります。
- 木目・色・風合等において、原材料に起因するバラつきが生じることがあります。
- 本製品は、消防法に基づく防災規制の対象外製品です。

天然木のスラット・木部材について

- 天然木のスラット・木部材*には、木の特性である節(ふし)・筋(すじ)・材色の濃淡などが含まれることがあります。
*木部材…ヘッドボックス[ナチュラルウッド]・ボトムレール・タッセル・チルトポール・ナチュラルウッドバランス〈オプション〉
- 天然木は使いはじめに製品特有のにおいがあります。このにおいは、主原料である天然素材のにおいと製法上添加される塗料のにおいが混じり合ったにおいであり、人体に害をあたえるものではありません。このにおいは時間が経つと少しずつ薄れていきますが、気になる場合にはできるだけ換気をしていただくことをおすすめいたします。
- 使用環境により、若干の曲がり・反りが生じる場合があります。そのため、スラット全開状態でも閉まりが甘く、光が漏れることがあります。

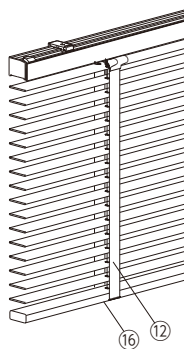
こちらから天然木の表情について詳しく確認できます。▶



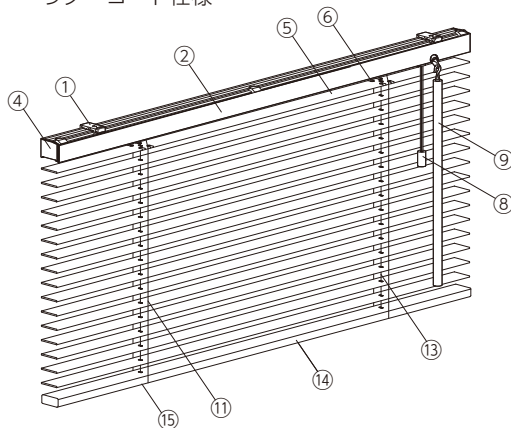
各部の名称

■フォレティア

ラダーテープ仕様

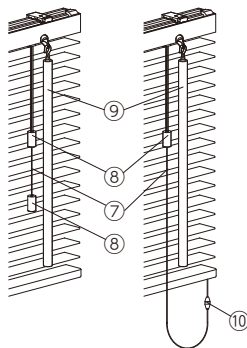


ラダーコード仕様



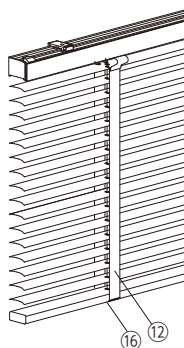
取付高さ
2010mm
以上の場合

〈セーフティー
ジョイント〉
の場合

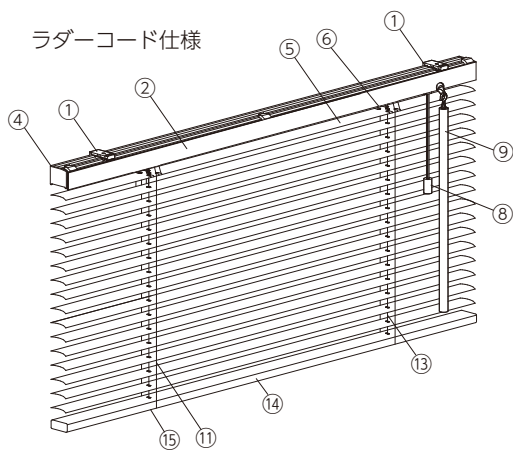


■アフタービート

ラダーテープ仕様

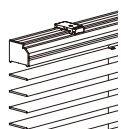
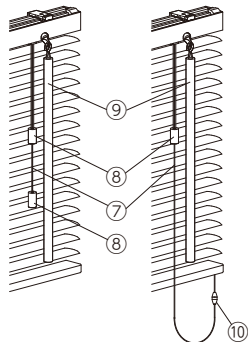


ラダーコード仕様



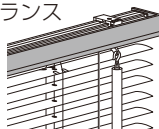
取付高さ
2010mm
以上の場合

〈セーフティー
ジョイント〉
の場合



③ヘッドボックス[アルミ]
⑰ナチュラルウッドバラン
ス〈オプション〉はヘッドボ
ックス[アルミ]に取付けが
できます。

⑰ナチュラルウッドバラン
ス〈オプション〉

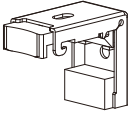
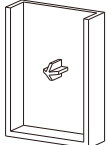


各部の名称

- | | |
|------------------------|----------------------|
| ①取付けブラケット | ⑨チルトポール |
| ②ヘッドボックス
[ナチュラルウッド] | ⑩セーフティジョイント |
| ③ヘッドボックス[アルミ] | ⑪ラダーコード |
| ④ボックスキャップ | ⑫ラダーテープ |
| ⑤スラット | ⑬昇降コード |
| ⑥スラット押さえ | ⑭ボトムレール |
| ⑦操作コード | ⑮テープホルダー |
| ⑧タッセル | ⑯ボトムホルダー |
| | ⑰ナチュラルウッドバランス〈オプション〉 |

付属品（施工する前にまず付属品をご確認ください）

[単位：mm]

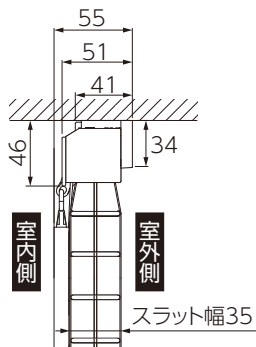
部品名	取付けブラケット	取付けねじ (木部用)	ブラケットキャップ (天井付けの場合のみ付属)	チルトポール
製品幅		 なべねじ φ3.5×16		
フォレティア				
～1300	2 個	2 本	2 個	1 本
1305～1800	3 個	3 本	3 個	
1805～2000	4 個	4 本	4 個	
アフタービート				
～1500	2 個	2 本	2 個	1 本
1505～2000	3 個	3 本	3 個	

寸法図

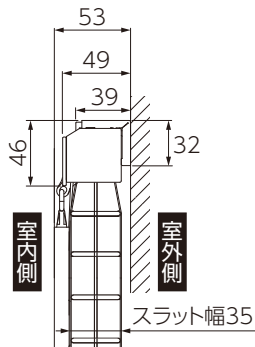
[単位：mm]

《天井付け》

ブラケットキャップありの場合



《正面付け》



製品の取付けかた

■必要な工具の確認

プラスドライバー・巻尺(スケール)

1) 製品の確認

⚠ 注意

製品の変形、破損、付属品の不足等がないことを確認してください。
異常または不足がある場合は取付けできませんので、お買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

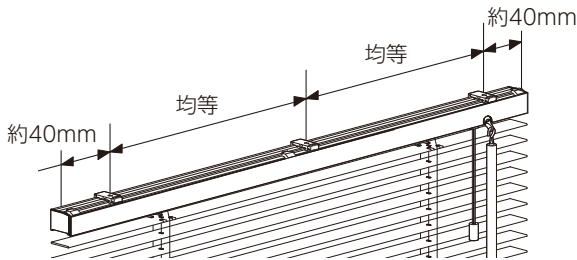
2) 取付け下地の確認

⚠ 注意

- ・製品に付属している取付けねじは木部用です。木部以外の下地には使用できません。
- ・木部以外の下地に取付けるときは、その下地の強度や材質に応じたねじ、アンカー等をご使用ください。
- ・石こうボード等で木部下地に直接取付けねじを打てない場合は、木部下地に10mm以上ねじがかかるように別途長いねじをご使用ください。
- ・取付け部が水平になっているか確認してください。
- ・製品の動く範囲内に障害物がないか確認してください。

3) 取付けブラケットの取付け

①取付けブラケットの取付け位置を決めてください。



フォレティアの場合

製品幅 (mm)	取付けブラケット個数
～1300	2 個
1305～1800	3 個
1805～2000	4 個

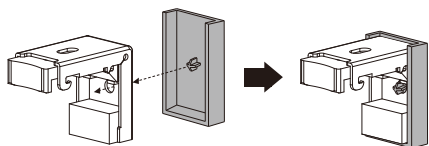
アフタービートの場合

製品幅 (mm)	取付けブラケット個数
～1500	2 個
1505～2000	3 個

- ・取付けブラケットの位置は、製品端部より約40mm離れた位置にくるようにしてください。
- ・取付けブラケットが3個以上の場合は、ブラケット間隔が均等になるように両端の取付けブラケットの位置を基準に、残りの取付けブラケットの位置を決めてください。

□ブラケットキャップの取付け（天井付けの場合）

窓枠の内側に取付ける（天井付け）場合、ブラケットキャップ（2mm厚）を取付けブラケットの背面にはめ込んでください。



ブラケットキャップが取付けブラケットにしっかりとまっていることを確認してください。

ブラケットキャップを取付けると製品を室外側から見た際に取付けブラケットが目立ちません。



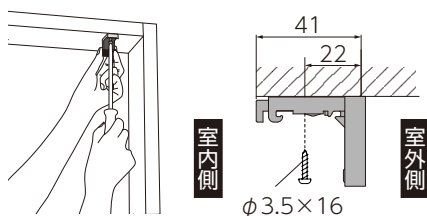
ブラケットキャップあり



ブラケットキャップなし

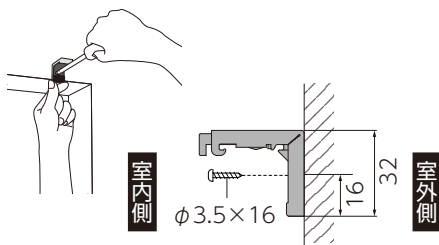
②取付けブラケットを付属のねじで固定してください。

天井付けの場合



天井付けの場合は、取付けブラケットは取付け面に一直線になるように取付けてください。

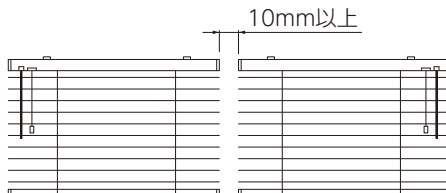
正面付けの場合



正面付けの場合は、取付けブラケットの上面が水平になるように、ブラケットの高さがそろるように取付けてください。

□製品を2台以上並べて取付ける場合

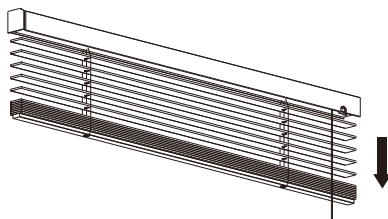
製品と製品を10mm以上離して取付けます。取付けブラケットもそれぞれの製品取付け位置に合わせて固定してください。



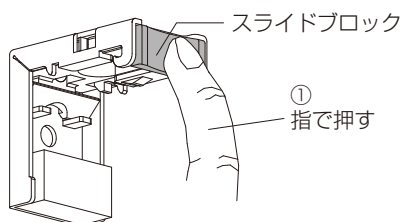
4) 製品の取付け

ヘッドボックス部分を手でつかめるようにするため、ヘッドボックスとスラットの間に指が通る程度(100mm程度)スラットを下げてください。

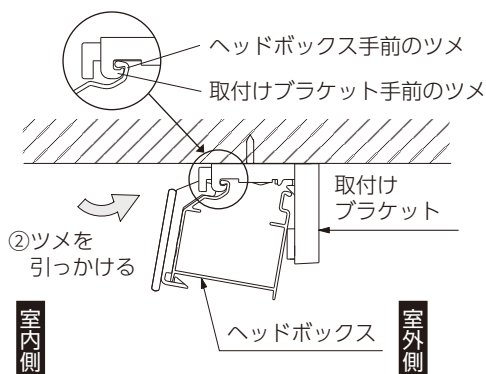
(P12「操作のしかた」参照)



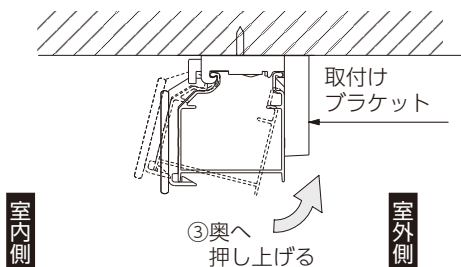
- ①取付けブラケットのスライドブロックを指で押してください。



- ②ヘッドボックス部分を両手で持ち、ヘッドボックス手前のツメを取付けブラケット手前のツメに引っかけます。



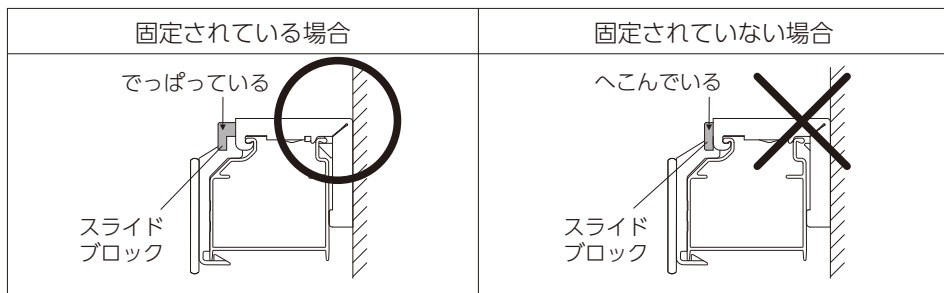
- ③引っかけた状態で左右のバランスを見て位置を決め、ヘッドボックスを右図のように奥側へ押し上げてください。
取付けブラケット奥側のツメがかかると「カチッ」と音がします。



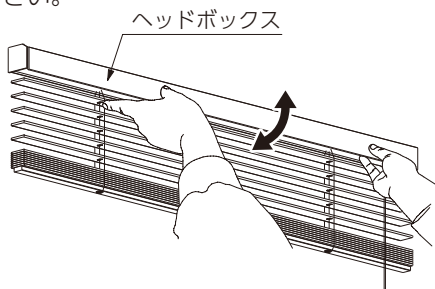
取付けブラケットに製品本体を取付けるときは、ヘッドボックス部分を持ってください。

製品の取付けかた

- ④すべての取付けブラケットにヘッドボックスが確実に固定されていることを確認してください。



- ⑤ヘッドボックスを軽く揺らして製品が確実に取り付けられていることを確認してください。外れてしまう場合はP 8「4）製品の取付け」に従い、正しく取り付けてください。



⚠ 注意

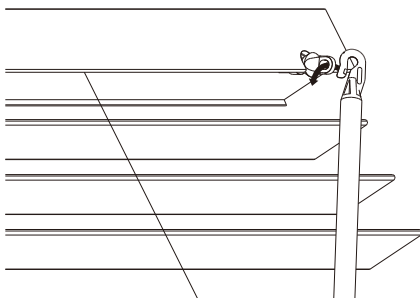
ヘッドボックスをしっかり支えた状態で製品を軽く揺らしてください。確実に固定されていないと製品が落下し、思わぬ事故をまねく恐れがあります。

⚠ 注意

製品本体取付け時には、製品が確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないと、製品が落下し思わぬ事故をまねく恐れがあります。

5) チルトポールの取付け

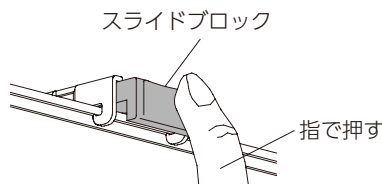
チルトポールをフックに取付けてください。



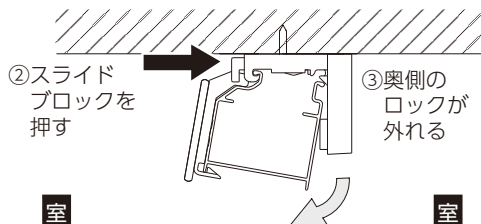
製品の取外しかた

- ①ヘッドボックス部分を手でつかめるようにするため、
ヘッドボックスとスラットの間に指が通る程度(100mm程度)スラットを下げてください。

- ②ヘッドボックス部分を手で支えた状態で
取付けブラケットのスライドブロックを
押してください。(※)



- ③ヘッドボックス奥側のロックが解除され、
前側のツメだけが引っかった状態に
なります。



- ④取付けブラケットのツメからヘッドボッ
クスを少し持ち上げるようにして取外し
てください。

室内側

- ④ヘッドボックスを
少し持ち上げるよう
にしてツメから外す

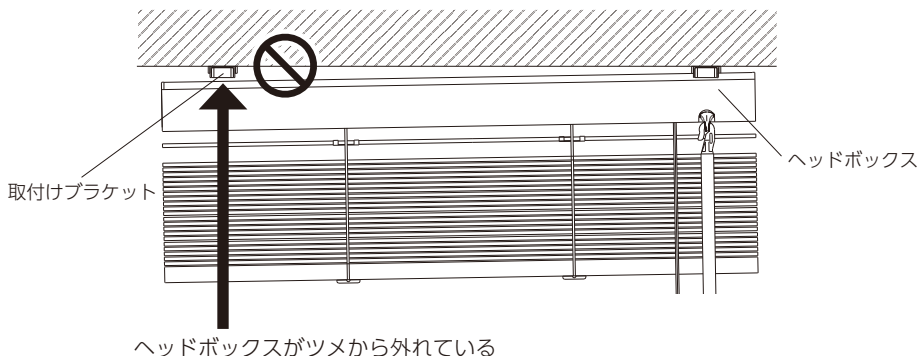
室外側

⚠ 注意

必ず製品本体を手で支えながらスライドブロックを押してください。製品が落下し、思わぬ事故をまねく恐れがあります。

※製品を取付けブラケットのツメから外す作業は、先にすべてのスライドブロックを押してから行ってください。

下図のように1ヵ所でもツメから外れてしまうと、ヘッドボックスを水平な状態に保ちにくくなり、残りの取付けブラケットから製品が取外せなくなることがあります。

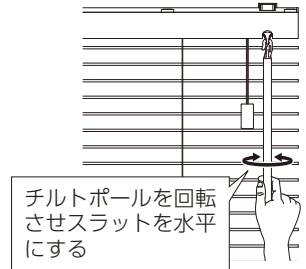


⚠ 注意

- ・製品を操作する前にスラットの動く範囲内に障害物がないことを確認してください。
- ・タッセルを手で引いたあとにタッセルから手を離すと、ブラインドが勢いよく下降します。必ずタッセルから手を離さずに操作してください。

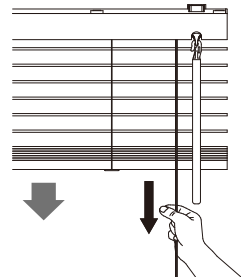
1) ブラインドの昇降

昇降動作のストッパー機構は、タッセル(※)を引くごとにロックと解除を繰り返す仕組みになっています。昇降操作をする前には必ずスラットを水平な状態にしてください。
※タッセル以外にも昇降コード・操作コードを引くことで同様の昇降操作が行えます。



ブラインドを降ろすとき

タッセルを下に少し引き、タッセルを持ったままゆっくりとブラインドを降ろしてください。

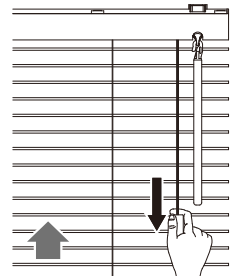


ブラインドを止めるとき

再び、タッセルを少し引くと、その位置で止まります。

ブラインドを上げるとき

タッセルを下に引くとブラインドが上がります。
タッセルを引くのを止めると、ブラインドは途中で止まります。

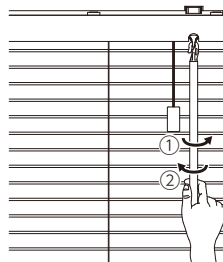


スラットがすべてたたみ込まれると、それ以上は上がりません。無理にタッセルを引くと、故障の原因となります。

2) スラットの角度調整

チルトポールを回転させるとスラットが回転し、採光量を調整できます。

- ①チルトポールを右に回すとスラットの上面が室外側に向きます。
- ②チルトポールを左に回すとスラットの上面が室内側に向きます。



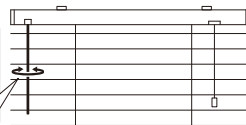
スラットがすべて閉まると、それ以上チルトポールは回せません。無理にチルトポールを回すと、故障の原因となります。

□製品幅325mm以下の場合

1) ブラインドの昇降

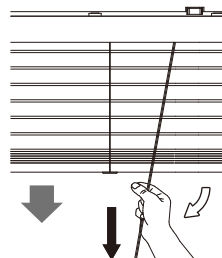
昇降動作する前には必ずスラットを水平な状態にしてください。

チルトポールを回転させスラットを水平にする



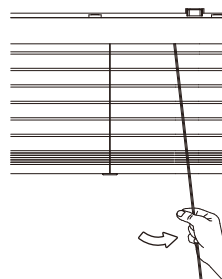
ブラインドを降ろすとき

タッセルを少し内側に引き、タッセルを持ったままゆっくりとブラインドを降ろしてください。



ブラインドを止めるとき

タッセルを少し外側に引くと、その位置で止まります。



ブラインドを上げるとき

タッセルをを下に引くとブラインドが上がります。



2) スラットの角度調整

チルトポールを回転させるとスラットが回転し、採光量を調整できます。

高さ調整のしかた

製品を取付けた状態のままで、製品高さを縮めることができます。

窓枠の下部にボトムレールが当たってしまう場合の対策など、ブラインドの高さを短く微調整したい場合に便利な機能です。

※ご注文の製品高さより長くすることはできません。

ラダーコード仕様の場合

■用意するもの

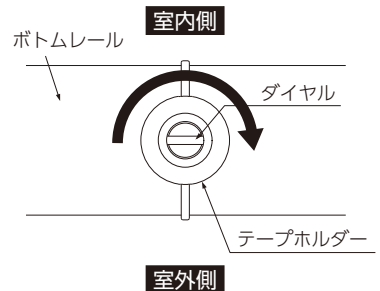
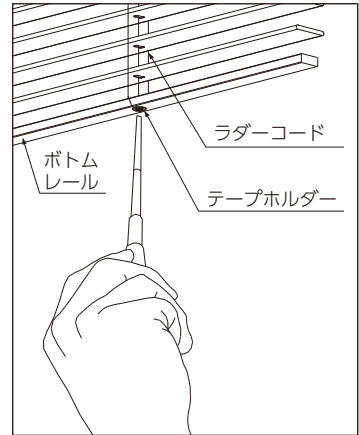
マイナスドライバーまたはコイン

- ①テープホルダーのダイヤルにマイナスドライバーやコインを差し込み右に回転させると製品高さを縮められます。

ダイヤル1/4回転で約5mm縮まります。

高さを確認しながら少しずつ調整してください。

縮めることができる高さ 約15mmまで

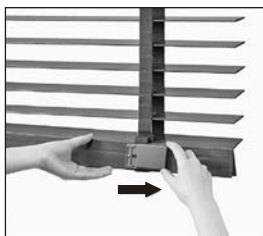
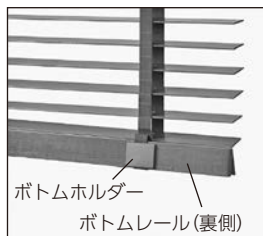


- ②調整ダイヤルのついているすべてのテープホルダーを同じ分回転させ高さを合わせてください。

※万が一縮めすぎた場合は、ダイヤルを元に戻します。回した方向と逆にダイヤルを回し、ラダーコードを手で引っ張ると元の長さに戻すことができますので、再度調整してください。

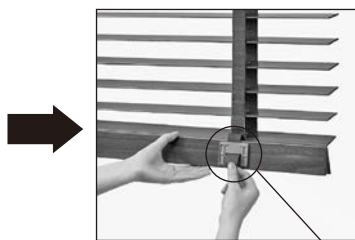
高さ調整のしかた

ラダーテープ仕様の場合

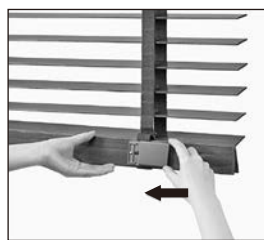


- ①ボトムホルダーのカバーを矢印の方向へスライドし、取り外します。

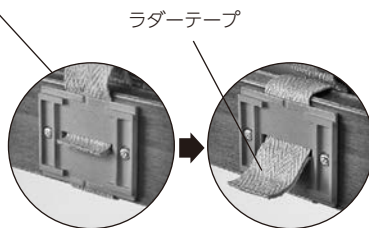
* ボトムホルダーの取付け位置によりカバーの引く方向が変わる場合があります。



- ②ボトムホルダーを固定しているラダーテープを掴み、引っ張ることで、高さを調整します。



- ③引っ張り出したラダーテープは、カバーの内側へたたみ込み、その上から、カバーを矢印方向へスライドし、取付けます。



縮めることができる高さ 約15mmまで



- ・ブラインドがたたみ込まれた状態で高さ調整を行わないでください。
- ・記載された調整高さ以上は縮めないでください。部品の破損や故障の原因となります。
- ・ボトムレールと1番下のスラットの間にすき間がなくなったら、それ以上無理にダイヤルを回したり、ラダーテープを引っ張らないでください。

ご使用の前に

取付けかた

使いかた

お手入れ

こんなときは

お手入れのしかた

日頃のお手入れは、製品を取付けたままで簡単にできます。
小型ホウキやハンディモップなどで、スラットやコードなどのホコリを取り払ってください。

■天然木スラットのお手入れ

スラットは天然木の中でも、反りやねじれが起こりにくい安定した素材を使用していますが、スラットの反りやねじれの発生要因は水分による影響がほとんどです。

そのため水拭きによるお手入れはお控えください。

■アルミスラットのお手入れ

- ・油気の多い所では、油汚れをこまめに拭きとってください。
- ・スラットの汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めたものをご使用ください。
また洗剤を使用した後は必ず水拭きをして、洗剤成分をきちんと拭きとってから乾かしてください。
なお住宅用中性洗剤の中には洗浄力が強いものも多いので、ブラインドのお手入れには、塗装膜保護のため台所用洗剤をおすすめしています。

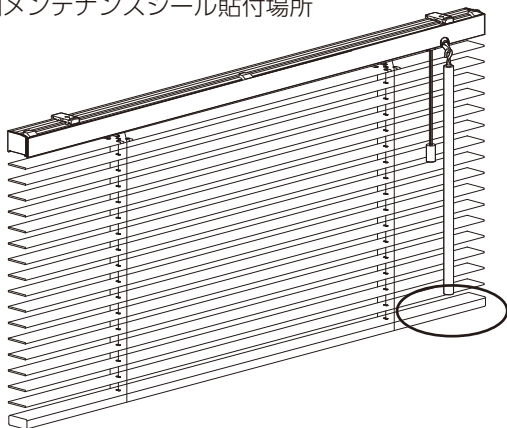
トラブルシューティング

症 状	対 処 方 法
ブラインドが下がりにくい または下がらない	・製品の動く範囲内に障害物がある。 →障害物を取り除いてください。 ・昇降コードが摩耗しているまたは切れている。 →昇降コードの取替えが必要です。 お買い上げいただいた販売店にご相談ください。
ブラインドが片方しか 上がらない	昇降コードが摩耗しているまたは切れている。 →昇降コードの取替えが必要です。お買い上げいただいた販売店にご相談ください。
チルトポールを回しても スラットが回転しない	チルトギアが故障している可能性があります。交換修理が必要な場合もありますので、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。
窓枠の下部にブラインド が当たってしまう	製品を取付けた状態のままで、製品高さを縮めることができます。 P14～「高さ調整のしかた」に従って調整してください。
スラットが折れた	スラットのみ取り寄せ、交換が可能です。 お買い上げいただいた販売店にご相談ください。
製品が落ちた	・取付けねじが抜けた。 →取付ける面の種類に応じた取付けかたで取付けてください。 ・取付けブラケットが破損している。 →取付けブラケットを交換してください。 ・製品が取付けブラケットに確実に固定されていなかった。 →P8～「製品の取付け」に従って取付けなおしてください。
製品を処分したい	お住いの地域によって処分のしかたが異なります。 ご不明な点は、お住いの自治体にご確認いただくなどして、処分してください。 主な材質 ・スラット部分…木材(フォレティア)／アルミ(アフタービート) ・ヘッドボックス部分…アルミ ・コード類…化学繊維

メンテナンスシールのみかた

製品には、その製品のスラットNo.や製品サイズなどがわかるメンテナンスシールを貼付けています。修理や部品交換等のお問い合わせの際、このシールに記載されている内容をお手元にご用意いただくと、スムーズに対応することができます。お問い合わせの際は、あらかじめご確認ください。

■メンテナンスシール貼付場所



製品を室内側から見て
ボトムレールの右側の上面

■メンテナンスシール記載内容

お問い合わせの場合は網掛け部18桁（「-」ハイフン含む）の番号をご連絡ください。

〈フォレティアの場合〉

お問い合わせ番号(18桁)		ラダーテープNo.(ラダーテープ仕様の場合)	
24051234-123456781		0051	
24FT35PR	6011	W1000×H1800	
製品略称	スラットNo.	製品サイズ(mm) (幅×高さ)	

ご不明な点は、弊社営業所まで
お問い合わせ下さい。

タカワライズ

〈アフタービートの場合〉

お問い合わせ番号(18桁)				木部材No.	
24051234-123456781				6011	
24AB35PR	7701	0052	W1000×H1800		
製品略称	スラットNo.		製品サイズ(mm) (幅×高さ)		
ラダーテープNo.(ラダーテープ仕様の場合)					

ご不明な点は、弊社営業所までお問い合わせ下さい。

 **タカカワブランド**

ご不明な点は、弊社営業所まで
お問い合わせ下さい。

タカワライズ

保証とアフターサービス

無償修理規定 ※本規定は、日本国内においてのみ有効です。

取扱説明書に記載通りの正常なご使用状態で、万一故障した場合は、商品の引き渡し日より3年間は無償にて修理をさせていただきます。但し、「スラット類」「コード類」につきましては、無償修理期間を商品の引き渡し日より1年間とさせていただきます。外観不良につきましては、商品の引き渡し後7日以内にお申し出ください。

次のような場合、無償修理期間内でも有償修理となります。

- ・取付け上の誤り、使用上の誤り、不当な修理や改造による故障および損傷。
- ・機能喪失を伴わない意匠劣化。（さび、樹脂部分の変質、変色、塗装の退色、かびなど）
- ・天然素材の特性による現象。（例 木部の反り、干割れ、色褪せ、木目使い、節抜けなど）
- ・建築躯体の変形など製品以外に起因する不具合。
- ・天変地異（火災、地震、水害、落雷等）による故障および損傷。
- ・特殊環境（極度の湿気、薬品のガス、公害、塵埃等）による損傷。

修理をご依頼になる場合は、お買い上げの販売店にお申し付けください。

転居などにより、お買い上げいただいた販売店などが不明な時は、弊社支店にお問い合わせください。

〈お客様相談室〉0120-937-958

受付時間 9:00～12:00、13:00～17:00（土日・祝祭日、夏季休暇、年末年始等のぞく）

チャイルドセーフティー安全上のご注意

日本ブラインド工業会



注意

子供は思わぬ行動を取ります。大人の常識は通用しません。



警告

コードやチェーンが体に巻きついたり、引っかかるようなことをしないでください。事故の恐れがあります。



日本ブラインド工業会



警告

小さなお子様がいらっしゃるご家庭では、ブラインドやスクリーンのコードやチェーン類の近くにソファやベッドを置かないでください。ソファやベッドに上があれば手が届き、事故の恐れがあります。



日本ブラインド工業会

- 事故が起きたり、危険を感じたら製造メーカーにご連絡ください。事故の再発防止や安全性の向上のため情報提供をお願いします。
- セーフティジョイントやクリップをご使用になっても、事故が完全に回避されるわけではありません。コードやチェーンの危険性を十分に認識したうえでご使用をお願いします。

立川ブラインド工業株式会社

本社：〒108-8334 東京都港区三田3丁目1番12号 TEL.03-5484-6100（大代表）
ホームページ：<https://www.blind.co.jp/>



2024.05
949530